

下水道工事標準仕様書 新旧対照表

新	旧	備考
<p>1.3. マンホールと管の接続</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 硬質塩化ビニル管(JSWAS K-1, JSWAS K-13)の布設にあたっては、原則マンホール接続部にくら型マンホール継手及び半管以下の切管を使用しなければならない。 2. 鉄筋コンクリート管の布設にあたっては、マンホール接続部に半管以下の切管を使用し、漏水のないようモルタル巻きで入念に仕上げなければならない。 3. MHに接続する半管については、1本の管を半分に切断し上下流に割り振ったうえで、標準管の本数が最大となるよう管割を検討し、施工計画書に明記すること。ただし、塩ビMHについては、その限りではない。 ※半管以下の切管は50cmを最小とする。また、φ700mm以上の管については別途協議すること。 	<p>1.3. マンホールと管の接続</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 硬質塩化ビニル管(JSWAS K-1, JSWAS K-13)の布設にあたっては、マンホール接続部にくら型マンホール継手及び切管を使用しなければならない。 2. 鉄筋コンクリート管の布設にあたっては、マンホール接続部に切管を使用し、漏水のないようモルタル巻きで入念に仕上げなければならない。 3. 切管の使用については、長さが50cm以上かつ標準管の本数が最大となるよう管割を検討のうえ、施工計画書に明記すること。 	<p>(文言修正)</p>

下水道工事標準仕様書 新旧対照表

新	旧	備考
<p>8. 取付管及びます工</p> <hr/> <p>1. 「下水道必携（案）」及び「取付管工事設計施工要綱」によるものとする</p> <p>本工種を下請けとする場合には、苫小牧市の給排水指定業者から選定する。</p>	<p>8. 取付管及びます工</p> <hr/> <p>1. 「下水道必携（案）」及び「取付管工事設計施工要綱」によるものとする</p>	<p>(文言追加)</p>